

<p>【イベント名】 第3回 日本・メキシコ内視鏡カンファレンス</p>	<p>【概要】 Dr. 上堂より、鎮痙剤の使用や内視鏡画像の撮影枚数、観察手順といった上部消化管内視鏡検査（EGD）の設定とその実践についての一連の流れが説明された。</p>
<p>【期日】 2016.07.28</p>	
<p>【会場】 メキシコ国立自治大学（メキシコ）、 シャープマサトラン病院（メキシコ）、 大阪府立成人病センター（日本）、 九州大学病院（日本）</p>	<p>Dr. 上堂は現時点でわかっている有用なエビデンスや実際に日本で実施されている白色光を用いた胃がんのスクリーニングについて説明し、今後の研究の基礎となるであろうスクリーニングEGDによる早期胃がん発見のためのコツについて情報提供した。</p>
	
<p>大阪府立成人病センターから発表するDr. 上堂。</p>	<p>モニターに映し出される4地点の様子。</p>
<p>撮影場所：大阪府立成人病センター</p>	<p>撮影場所：大阪府立成人病センター</p>
	
<p>提示された内視鏡画像のスライドと接続地点。</p>	<p>Dr. 上堂から提示された内視鏡画像。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>メキシコ国立自治大学での会場の様子。</p>	<p>九州大学病院からコメントするDr. 清水。</p>
<p>撮影場所：メキシコ国立自治大学</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>